

第11章 製図

- ◆ 給水装置の製図は、定められた文字、記号をもって作成すること。
- ◆ 特に給水装置工事報告書は、維持管理の基本的資料として永久保存される大切なものであるため、詳細、明瞭かつ正確に描くこと。

1. 文字・単位・記号

(1) 文字

JIS Z 8313-1984 (製図に用いる文字) を標準とする。

(2) 単位

① 長さ

区分	指定
単位	メートル
数値表示	少数点以下第1位まで
単位記号	不要

② 口径

区分	指定
単位	ミリメートル
単位記号	不要
寸法補助記号	数値の前にφを記入

(3) 記号

第12章 (25 ページ) に示す給水装置用記号によるものとする。

(4) 管種の表示 (文字記号)

管種	文字記号
石綿管	ACP
ダクタイル鋳鉄管	DIP
硬質塩化ビニール管	VP
耐衝撃性硬質塩化ビニール管	HIVP
水道配水用(給水用)ポリエチレン管	HPPE
銅管	CP
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管	SGP-PB
水道用ポリ粉体内外面被覆ライニング鋼管	SGP-PD
水道用硬質塩化ビニールライニング鋼管A、B、D	SGP-VA、SGP-VB、SGP-VD
水道用ポリエチレン管	PP
水道用架橋ポリエチレン管	XPEP
水道用ポリブデン管	PBP

2. 付近見取図

- (1) 工事場所が容易に判断できるよう、次のような詳細についても正確に描くこと。

項目	記入する色
付近の目安となる建物	黒色
隣接する建物	//
道路路線名	//
消火栓	//
仕切り弁	//
分譲地等の場合は全ての区画	//
給水管の引込み位置	赤色

3. 平面図

(1) 次の各項目を正確に描くこと。

項目		記入する色
道路	道路の種別	黒色
	道路幅	〃
	舗装の種別	〃
	歩車道の区別	〃
	公私道の区別	〃
	側溝	〃
	官民境界	〃
隣地境界		〃
当該建築物の間取り		〃
既設の配水管	配管	〃
	管種	〃
	口径	〃
既設の給水装置 (不明の場合は不要)	配管	〃
	材料・給水用具類	〃
新設する給水装置	配管	赤色
	材料・給水用具類	〃
撤去した給水装置	配管	黒色で描き青色で 斜め打ち消し線
	材料・給水用具類	黒色
既設の給水設備 (不明の場合は不要)	配管	〃
	材料・給水用具類	〃
新設する給水設備	配管	青色
	材料・給水用具類	〃
撤去した給水設備	配管	黒色で描き青色で 斜め打ち消し線
	材料・給水用具類	黒色

4. 立面図

(1) 平面図に書き表さない材料・給水用具類や施工方法を正確に描くこと。

項目		記入する色	単位等
道路	側溝	黒色	—
	官民境界	〃	—
既設の配水管	配管	〃	—
	管種	〃	—
	口径	〃	—
既設の給水装置 (不明の場合は不要)	配管	〃	—
	管種	〃	—
	口径	〃	—
	延長	〃	・0.1m単位で記入
	材料・給水用具類	〃	—
新設する給水装置	配管	赤色	—
	管種	黒色	—
	口径	〃	—
	延長	〃	・0.1m単位で記入 ・1m以上の直管を使用した時は、必ず異形管から異形管までの延長を記入

新設する給水装置	材料・給水用具類	赤色	—
	材料・給水用具名	黒色	—
撤去した給水装置	配管	黒色で描き青色で斜め打ち消し線	—
	管種	黒色	—
	口径	〃	—
	延長	〃	・ 0.1 m単位で記入
	材料・給水用具類	〃	—
	材料・給水用具名	〃	—
既設の給水設備 (不明の場合は不要)	配管	黒色	—
	管種	〃	—
	口径	〃	—
	延長	〃	・ 0.1 m単位で記入
	材料・給水用具類	〃	—
	材料・給水用具名	〃	—
新設する給水設備	配管	青色	—
	管種	黒色	—
	口径	〃	—
	延長	〃	・ 0.1 m単位で記入 ・ 1 m以上の直管を使用した時は、必ず異形管から異形管までの延長を記入
	材料・給水用具類	青色	—
	材料・給水用具名	黒色	—
撤去した給水設備	配管	黒色で描き青色で斜め打ち消し線	—
	管種	黒色	—
	口径	〃	—
	延長	〃	・ 0.1 m単位で記入 ・ 1 m以上の直管を使用した時は、必ず異形管から異形管までの延長を記入
	材料・給水用具類	黒色で描き青色で斜め打ち消し線	—
	材料・給水用具名	黒色	—

(2) 次の①～⑥すべてを満たす場合は、立面図の省略を認める。ただし、管理上必要であると管理者が判断した場合は省略不可とする。

- ① 次のいずれかに該当する新設、または改造工事である。
 - ア. 2階建てまでの一般住宅
 - イ. 作業小屋、畑、ハウス、庭園、駐車場で給水用具が5栓以下
- ② 給水方式はすべて直結直圧方式である。
- ③ 取出し口径、及び水道メーターの口径はφ 25以下である。
- ④ 水理計算書や水量・水圧に係る念書の提出を必要としない。
- ⑤ 管、材料・用具の種類、名称、延長、数量等を平面図上に記入する。
- ⑥ グラウンドレベル (GL)、フロアライン (FL) を平面図上に記入する。

5. オフセット

(1) 次の①、②を天災地変などに左右されない一定不変の測点から原則として3点以上正しく測定し、給水装置工事報告書に記入すること。

- ① 配水管からの分岐部 (サドル取付部等)
- ② 第一止水栓の位置